

はじめに



平成17年10月に宮古島市が誕生し、6年が経ちました。この6年間、市民の皆様とともに、少しずつ着実に市の課題を解決しながら新しいまちづくりを進めてまいりました。

第1次宮古島市総合計画は、「こころつなぐ 結いの島 宮古（みゃ〜く）」を目指すべき将来像として策定されましたが、今回、策定から5年が経ち、前期計画が終了したことを受けて、今後5年間市が目指すべき指針を後期基本計画として策定しました。

後期計画は、前期計画を継承しつつ、エコアイランド宮古島の推進や、健康福祉についてさらに踏み込む等、時代の変化に対応する内容となっています。

平成24年度は、沖縄県の新たな振興計画である「沖縄21世紀ビジョン基本計画」が策定されます。さらに、新たに用途の自由度の高い沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）制度が始まる見込みであり、今、沖縄は自立発展に向けた新たなステージに立っています。

本市においても、この沖縄をとりまく大きな流れの中で、より良いまちづくりを進めに行くためには、しっかりとしたビジョンを持って臨む必要があります。本計画を基に、宮古島らしさを活かしたまちづくりに全力で取り組む所存であります。

結びに、本計画の策定にあたり熱心にご審議いただきました宮古島市総合計画審議会委員をはじめ、ご意見をいただいた皆様、関係各位に心からお礼申し上げます。

平成24年4月

宮古島市長 下地 敏彦